

ディプロマ・ポリシー

- 1) 専門分野はもとより、人文・社会・自然科学その他幅広い知識・教養を身につけ、生涯に亘って「考え続ける」ための柔軟で粘り強い思考力の礎を築き行動できる。  
[幅広い知識・教養を修得し生涯学習を継続できる思考力]
  - 2) 専門分野に関する体系的な学習内容を含む知識・技術を活用し、具体的な課題解決のプロセスをデザインできる。[専門分野の知識・技術を活用する課題解決の過程デザイン]
  - 3) ユーザの視点で社会などの課題に対して他者との協働により解決に取り組むことができる。[他者との協働によるユーザ視点の課題解決力]
  - 4) 技術者としての倫理観、使命感を確立し、生涯に亘り学び続ける必要性を認識し、その姿勢を身につけ行動できる。[技術者としての倫理観・使命感に基づく行動力]
  - 5) 的確な表現方法・技術を用いたコミュニケーション(英語によるコミュニケーション、視覚効果を考慮したプレゼンテーションなどを含む)によって、自らの考えを伝え、他者の理解や共感を導き出せる。[相互に理解して共感を導くコミュニケーション力]
- A) デザイナーとして自然科学の素養や文化・芸術に関する知識を身につけるとともに工学的知識と思考力を備え、それらを活用できる。[身につけた教養を活用する思考力]
  - B) 専門分野としての建築・インテリアデザイン分野またはプロダクトデザイン分野の基礎と実践力をベースに協働で問題解決に取り組み、優れたデザインを創出できる。  
[具体的な提案へとまとめ上げるデザイン実践力]
  - C) 自らの発想などを的確に表現できるプレゼンテーション能力と、コミュニケーション能力を身につけ実行できる。[多様な情報をまとめ、端的に伝えるプレゼンテーション力]
  - D) 広い視野に立ち、社会の中で、デザイナーとして責任ある行動をとることができる。[デザインを社会的に位置づける社会的実行力]
  - E) 専門分野の技術の内容を体系的に理解し、PBLで養った実践的ものづくり力で、グローバル社会に対応した価値あるデザインを創出し、豊かな社会の実現に貢献できる。  
[デザインの広がりや未来を考える展開力]

◀DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△▶

領域	分野到達目標	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	目標累計 GP
共通教養科目	社会活動の基礎となる日本語リテラシー(的確な文章表現・文章読解力)を身につける。グローバル人材に欠かせない国際共通語としての英語で意思疎通ができるプレゼンテーションが行える実践力を獲得する。人文社会科学科目で異なる領域の知識・考え方を学ぶことで、専門である工学的な知識や思考方法を相対化し、その社会的意義について考え理解する。キャリア形成科目では、自身のキャリアマップを作成するとともに、学部教育方針と目標を理解し4年間の学修計画を立てる。	文章表現基礎 I	2	○			○	◎						
		文章表現基礎 II a	1	○			○	◎						
		文章表現基礎 II b	1	○			○	◎						
		哲学	1	◎		△	○	△						
		倫理学	1	◎		△	○	△						
		美術史	1	◎		△	○	△						
		日本語の歴史	1	◎		△	○	△						
		憲法a	1	◎		△	○	△						
		憲法b	1	◎		△	○	△						
		経済学	1	◎		△	○	△						
		歴史学	1	◎		△	○	△						
		心理学	1	◎		△	○	△						
		日本の文化と社会	1	◎		△	○	△						
		人文社会特殊講義	2	◎		△	○	△						
		健康体育 I	1	◎		△	△	◎						
		健康体育 II	1	◎		△	△	◎						
		ブラクティカル・イングリッシュa	1	◎				△						
		ブラクティカル・イングリッシュb	1	◎				△						
		アカデミック・イングリッシュa	1	◎	△			△						
		アカデミック・イングリッシュb	1	◎	△			△						
		オーラル・イングリッシュa	1	○				◎						
		オーラル・イングリッシュb	1	○				◎						
		ベーシック・プレゼンテーション	1	○				◎						
		ビジネス・イングリッシュa	1	◎				△						
		ビジネス・イングリッシュb	1	◎				△						
		アカデミック・プレゼンテーション	1	◎	△			◎						
プロフェッショナル・イングリッシュ	1	◎	△			◎								
海外語学研修	2	○				◎								
日本語 I	2	○				◎								
日本語 II	2	○				◎								
キャリアデザイン	1	○	△	◎	◎	◎								
インターシップ	2	◎	○	○	△	◎								
工学関連科目	専門科目を学ぶために必要な数学・物理の基礎的学力を修得し論理的思考力を身につける。技術者としての倫理観、使命感を確立し、生涯学び続ける姿勢を身につける。	解析学 I	2	◎	△				○					
		解析学 II	2	◎	△				○					
		解析学 III	2	◎	△				○					
		線形代数学 I	2	◎	△				○					
		線形代数学 II	2	◎	△				○					
		確率・統計学	2	◎	△		△		○					
		応用解析学 I	2	◎	◎									
		応用解析学 II	2	◎	◎									
		物理学 I	2	◎	◎		△		○					
		物理学 II	2	◎	○		△		○					
		物理学実験	2	◎		○			○		△			
		地球科学	2	◎	○		△		○					
		生物科学	2	◎	○		△		○					
		工学倫理	1	◎	○	◎	◎							
知的財産法概論	2	◎			◎	△								
生産マネジメント	2	◎			○	△								
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	グローバルテクノロジー論a	1	◎	○			◎						
		グローバルテクノロジー論b	1	◎	○			◎						
		OIT概論	1	◎			○							

領域	分野到達目標	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	目標累計 GP	
専門横断科目	「ユーザ中心の視点からイノベティブな発想を導き出すための手法」としての「デザイン思考」を実践できるようにする。技術者として必須の情報リテラシーと各専門分野における学修の基礎となるプログラミング能力を修得する。他分野の人と協働して問題解決に取り組めるようになる。	デザイン思考概論	2	◎	○		○		◎						
		造形演習	2					○				◎			
		ロボティクス&デザイン工学演習	●2	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
		ロボティクス&デザイン工学実践演習(国際PBL)	1	○	◎	◎						○	◎	○	◎
		基礎情報処理	1	○	◎										
		プログラミング演習 I	●1	○	◎					◎					
		プログラミング演習 II	1	○	◎					◎					
		プログラミング演習 III	1	○	◎					◎					
		プログラミング演習 IV	1	○	◎					◎					
		プログラミング実践演習	●1		◎	○				◎					
デザイン共通科目	すべてのデザイン分野に共通する、基礎的な造形スキルやコンピュータ技能および、空間的、立体的構想力や表現力を修得するとともに、これらを確に適用するための文化的、芸術的教養を身につける。	設計製図演習	●3	○	○			○			◎				
		CG基礎演習	2					◎			◎				
		CAD演習 I	2					◎				◎			
		CAD演習 II	2					◎				◎			
		色彩計画	2	◎				△	◎	△	△				
		インテリアデザイン計画	2	○		○			○	◎					
		知の技法	2	◎				○					△		
		造形力学 I	2	◎					◎	△					
		造形力学 II	2	◎						◎	△				
		構造デザイン	2	○	◎					◎	○				
		構造材料・構造実験	2	○	◎			○		◎	◎	○			
		デザイン論 I	●2	◎	△	◎			◎	△			◎	△	
		デザイン論 II	●2	◎	△	◎			◎	△			◎	△	
		デザイン論 III	●2	◎	△	◎			◎	△			◎	△	
		空間形態論	2	◎		△	◎			◎	△		◎	○	
		生活空間デザイン	2	◎		△	◎			◎	△		◎	○	
		インテリアデザイン史	2	◎		△	◎			◎	△		◎	○	
		商空間デザイン	2	◎		△	◎			◎	△		◎	○	
		ものづくりデザイン演習	2		◎	○				◎				○	
		人間工学	2	○	△	○				◎				△	
文化テクノロジー論	2	◎			○	○		◎	△			○			
基礎ゼミナール	1		◎	◎			○	○		○	△				
デザイン工学ゼミナール	●1		◎	◎			○	◎	○	◎	△	○			
空間デザイン系科目	建築デザイン分野において必須となる、製図技術や表現技法を体得するとともに、建築の設計や施工の際に求められる、計画理論や技術的知識について通曉する。	空間デザイン基礎演習	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		空間デザイン演習 I	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		空間デザイン演習 II	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		空間デザイン演習 III	■2		◎		△	◎		◎	◎	○	◎		
		空間デザイン演習 IV	■2		◎		△	◎		◎	◎	○	◎		
		建築計画 I	2	○	△	△			◎					△	
		建築計画 II	2	○	△	△			◎					△	
		建築設計方法論	2	○	○				◎					△	
		都市環境デザイン	2	○	△	△			◎					△	
		日本建築史	2	○	△				◎					△	
		西洋建築史	2	○	△				◎					△	
		近代建築史	2	○	△				◎					△	
		建築構法	2	○	△				◎					△	
		建築構造学	2	○	△				◎					△	
		建築環境工学 I	2	○	△				◎					△	
		建築環境工学 II	2	○	△				◎					△	
		建築法規	2	○	△				◎					△	
		建築施工	2	○	△				◎					△	
		建築材料	2	○	△				◎					△	
		建築設備	2	○	△				◎					△	
プロダクトデザイン系科目	プロダクトデザイン分野において必須の、さまざまな加工、製作技術の熟達と、それらの裏付けとなる材料工学、造形理論、品質管理などについて通曉する。	プロダクトデザイン基礎演習	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		プロダクトデザイン演習 I	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		プロダクトデザイン演習 II	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		プロダクトデザイン演習 III	■2		◎		△	◎		◎	◎	○	◎		
		プロダクトデザイン演習 IV	■2		◎		△	◎		◎	◎	○	◎		
		プロダクト材料工学	2	○	△				◎					△	
		コミュニケーションデザイン論	2	○	△			△	◎			△		△	
		コンテンツ応用論	2	○	△			△	◎			△		△	
		情報デザイン論	2	○	△				◎					△	
		デザインマネジメント	2	○	△	△			◎	○		○		△	
		ラピッドプロトタイピング	2	○	△				◎					△	
デザイン史	2	○	△	○				◎				△			
卒業研究	卒業研究	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			

(注)単位数の前に●を付した授業科目は必修科目、■を付した授業科目は選択必修科目  
(注)「卒業研究」はカリキュラム・マトリクスでのみ4単位として取り扱う

ディプロマ・ポリシー

- 1) 専門分野はもとより、人文・社会・自然科学その他幅広い知識・教養を身につけ、生涯に亘って「考え続ける」ための柔軟で粘り強い思考力の礎を築き行動できる。[幅広い知識・教養を修得し生涯学習を継続できる思考力]
  - 2) 専門分野に関する体系的な学習内容を含む知識・技術を活用し、具体的な課題解決のプロセスをデザインできる。[専門分野の知識・技術を活用する課題解決の過程デザイン]
  - 3) ユーザの視点で社会などの課題に対して他者と協働により解決に取り組むことができる。[他者との協働によるユーザ視点の課題解決力]
  - 4) 技術者としての倫理観、使命感を確立し、生涯に亘り学び続ける必要性を認識し、その姿勢を身につけ行動できる。[技術者としての倫理観・使命感に基づく行動力]
  - 5) 的確な表現方法・技術を用いたコミュニケーション(英語によるコミュニケーション、視覚効果を考慮したプレゼンテーションなどを含む)によって、自らの考えを伝え、他者からの理解や共感を導き出せる。[相互に理解して共感を導くコミュニケーション力]
- A) デザイナーとして自然科学の素養や文化・芸術に関する知識を身につけるとともに工学的知識と思考力を備え、それらを活用できる。[身につけた教養を活用する思考力]
- B) 専門分野としての建築・インテリアデザイン分野またはプロダクトデザイン分野の基礎と実践力をベースに協働で問題解決に取り組み、優れたデザインを創出できる。[具体的な提案へとまとめ上げるデザイン実践力]
- C) 自らの発想などを的確に表現できるプレゼンテーション能力と、コミュニケーション能力を身につけ実行できる。[多様な情報をまとめ、端的に伝えるプレゼンテーション力]
- D) 広い視野に立ち、社会の中で、デザイナーとして責任ある行動をとることができる。[デザインを社会的に位置づける社会的実行力]
- E) 専門分野の技術の内容を体系的に理解し、PBLで養った実践的ものづくり力で、グローバル社会に対応した価値あるデザインを創出し、豊かな社会の実現に貢献できる。[デザインの広がりや未来を考える展開力]

≪DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△≫

領域	分野到達目標	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	目標累計 GP	
共通教養科目	社会活動の基礎となる日本語リテラシー(的確な文章表現・文章読解力)を身につける。グローバル人材に欠かせない国際共通語としての英語で意思疎通ができプレゼンテーションが行える実践力を獲得する。人文社会科学科目で異なる領域の知識・考え方を学ぶことで、専門である工学的な知識や思考方法を相対化、その社会的意義について考え理解する。キャリア形成科目では、自身のキャリアマップを作成するとともに、学部の方針と目標を理解し4年間の学修計画を立てる。	文章表現基礎 I a	1	○			○	◎							
		文章表現基礎 I b	1	○			○	◎							
		文章表現基礎 II a	1	○			○	◎							
		文章表現基礎 II b	1	○			○	◎							
		哲学	1	◎		△	○	△							
		倫理学	1	◎		△	○	△							
		美術史	1	◎		△	○	△							
		日本語の歴史	1	◎		△	○	△							
		憲法a	1	◎		△	○	△							
		憲法b	1	◎		△	○	△							
		経済学	1	◎		△	○	△							
		歴史学	1	◎		△	○	△							
		心理学	1	◎		△	○	△							
		日本の文化と社会	1	◎		△	○	△							
		人文社会特殊講義	2	◎		△	○	△							
		健康体育 I	1	◎		△	△	◎							
		健康体育 II	1	◎		△	△	◎							
		ブラクティカル・イングリッシュa	1	◎				△							
		ブラクティカル・イングリッシュb	1	◎				△							
		アカデミック・イングリッシュa	1	◎	△			△							
		アカデミック・イングリッシュb	1	◎	△			△							
		オーラル・イングリッシュa	1	○				◎							
		オーラル・イングリッシュb	1	○				◎							
		ベーシック・プレゼンテーション	1	○				◎							
		ビジネス・イングリッシュa	1	◎				△							
		ビジネス・イングリッシュb	1	◎				△							
		アカデミック・プレゼンテーション	1	◎	△			◎							
		プロフェッショナル・イングリッシュ	1	◎	△			◎							
		海外語学研修	2	○				◎							
		日本語 I a	1	○				◎							
日本語 I b	1	○				◎									
日本語 II a	1	○				◎									
日本語 II b	1	○				◎									
キャリアデザイン	1	○	△	◎	◎	○									
インターンシップ	2	◎	○	○	△	◎									
工学関連科目	専門科目を学ぶために必要な数学・物理の基礎的学力を修得し論理的思考力を身につける。技術者としての倫理観・使命感を確立し、生涯学び続ける姿勢を身につける。	解析学 I	2	◎	△				○						
		解析学 II	2	◎	△				○						
		解析学 III	2	◎	△				○						
		線形代数学 I	2	◎	△				○						
		線形代数学 II	2	◎	△				○						
		確率・統計学	2	◎	△		△		○						
		物理数学 I	2	◎	◎										
		物理数学 II	2	◎	◎										
		物理学 I	2	◎	○		△		○						
		物理学 II	2	◎	○		△		○						
		物理学実験	2	◎		○		○			△				
		工学倫理	2	◎	○	◎	◎								
		知的財産法概論	2	◎			◎	△							
		ものづくりマネジメント(技術を生かす経営)	2	◎			○	△							
		グローバルテクノロジー論a	1	◎	○			◎							
		グローバルテクノロジー論b	1	◎	○			◎							
		OIT概論	1	◎				○							

領域	分野到達目標	授業科目名	単位数	DP 1)	DP 2)	DP 3)	DP 4)	DP 5)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	目標累計 GP	
専門横断科目	「ユーザ中心の視点からイノベティブな発想を導き出すための手法」としての「デザイン思考」を実践できるようになる。技術者として必須の情報リテラシーと各専門分野における学修の基礎となるプログラミング能力を修得する。他分野の人と協働して問題解決に取り組めるようになる。	デザイン思考工学概論	2	◎	○		○		◎						
		デザイン思考実践演習	●1		◎	◎		○	◎					◎	
		ものづくりデザイン演習	2		◎	○				◎				○	
		ものづくりデザイン思考実践演習 I	●2		◎	◎			○	◎	○			◎	
		ものづくりデザイン思考実践演習 II	●1		◎	◎			○	◎	○			◎	
		基礎情報処理	1	○	◎										
		プログラミング演習 I	●1	○	◎					◎					
		プログラミング演習 II	1	○	◎					◎					
		プログラミング演習 III	1	○	◎					◎					
		プログラミング演習 IV	1	○	◎					◎					
		プログラミング特別演習	●1		◎	○			◎						
デザイン共通	すべてのデザイン分野に共通する、基礎的な造形スキルやコンピュータ技能および、空間的、立体的構想力や表現力を習得するとともに、これらを的確に運用するための文化的、芸術的教養を身につける。	設計製図演習	●2	○	○						◎				
		造形演習A	2					○			◎				
		造形演習B	2					○			◎				
		CG基礎演習	2					◎			○				
		CAD演習 I	2					◎			○				
		CAD演習 II	2					◎			◎				
		総合デザイン演習	●2	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	
		色彩計画	2	◎				△	◎	△	△				
		インテリアデザイン計画	2	○		○			○	◎					
		知の技法	2	◎				○		○			△		
		造形力学 I・同演習	3	◎						◎	△				
		造形力学 II・同演習	3	◎						◎	△				
		構造デザイン	2	○	◎					◎	○				
		構造材料・構造実験	2	○	◎	◎			○	◎	◎	○			
		デザイン論 I	●2	◎		△	◎			◎	△		◎	△	
デザイン論 II	●2	◎		△	◎			◎	△		◎	△			
デザイン論 III	2	◎		△	◎			◎	△		◎	△			
空間デザイン論	●2	◎		△	◎			◎	△		◎	○			
文化テクノロジー論	2	◎			○	○	◎	△				○			
空間デザイン系	建築デザイン分野において必須となる、製図技術や表現技法を体得するとともに、建築の設計や施工の際に求められる、計画理論や技術的知識について通暁する。	空間デザイン基礎演習	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		空間デザイン演習 I	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		空間デザイン演習 II	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		空間デザイン演習 III	■1		◎		△	◎		◎	◎	○	◎		
		空間デザイン演習 IV	■2		◎		△	◎		◎	◎	○	◎		
		建築計画 I	2	○	△	△				◎				△	
		建築計画 II	2	○	△	△				◎				△	
		都市環境デザイン	2	○	△	△				◎				△	
		日本建築史	2	○	△					◎				△	
		西洋建築史	2	○	△					◎				△	
		近代建築史	2	○	△					◎				△	
		建築構造学	2	○	△					◎				△	
		建築環境工学 I	2	○	△					◎				△	
		建築環境工学 II	2	○	△					◎				△	
		建築法規	2	○	△					◎				△	
		建築施工	2	○	△					◎				△	
		建築材料	2	○	△					◎				△	
建築設備	2	○	△					◎				△			
建築設計方法論	2	○	○					◎				△			
プロダクトデザイン系	プロダクトデザイン分野において必須の、さまざまな加工、製作技術の熟達と、それらの裏付けとなる材料工学、造形理論、品質管理などについて通暁する。	プロダクトデザイン基礎演習	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		プロダクトデザイン演習 I	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		プロダクトデザイン演習 II	■2		◎		△	◎		◎	◎		○		
		プロダクトデザイン演習 III	■1		◎		△	◎		◎	◎	○	◎		
		プロダクトデザイン演習 IV	■2		◎		△	◎		◎	◎	○	◎		
		プロダクト材料工学	2	○	△					◎				△	
		コミュニケーションデザイン論	2	○	△				△	◎		△		△	
		コンテンツ応用論	2	○	△				△	◎		△		△	
		情報デザイン論	2	○	△					◎				△	
		デザインマネジメント	2	○	△	△				◎	○		○	△	
		製品プロデュース論	2	○	△					◎			○	△	
		ユーザビリティ工学	2	○	△	○				◎				△	
人間工学	2	○	△	○				◎				△			
デザイン史	2	○	△	○				◎				△			
卒業研究		卒業研究	●4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

(注)イ.単位数の前に●を付した授業科目は必修科目  
 ロ.単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目

ディプロマ・ポリシー

- 1) 実践力のある専門的技術者となるべく、在学中だけでなく生涯にわたって主体的に学修活動を積み重ねる関心と意欲を持続できる。〔主体的に生涯学習を継続する意欲と関心〕
- 2) 人文社会科学や自然科学・情報技術など、技術者に求められる幅広い教養とスキルを身につけそれらを活用できる。〔技術者に求められる文・理・情報系の素養〕
- 3) 専門分野の知識・技術を体系的に理解し、社会や時代の要請に応じてそれらを実践的に適用できる。〔専門分野の知識・技術(詳細は学科DP)〕
- 4) 技術者および社会人としてふさわしいコミュニケーション能力を備え、他者の意見・意向を正確に把握するとともに、自らの意見・意向を的確に表現し、相互理解のもとで議論することができる。〔相互に理解し議論するコミュニケーション力〕
- 5) 社会的な課題の解決に向けて、他者と積極的に協働して取り組むことができる。〔他者との協働による課題解決力〕
- 6) 地球的な視野に立ち、持続的な社会の維持・発展に向けた技術者としての使命感や倫理観を備え、社会に能動的に貢献する行動ができる。〔社会に対し能動的に貢献する行動力〕

◆注:「3)」を明細化したものが、各学科のDPとなる

- A) 工学的知識と思考を持ったデザイナーとして必要な自然科学の素養や文化、芸術に関する知識を修得できる。〔身につけた教養を活用する思考力〕
- B) 専門分野としての建築デザイン系、プロダクトデザイン系の基礎と実践力をベースにして協働で問題解決に取り組むことができる。豊かな社会を実現する優れたデザインを創出できる。〔具体的な提案へとまとめ上げるデザイン実践力〕

これまでの建築やデザイン分野の成果を技術・思想など多角的な視点で捉え、理解することができる。人間にとって価値ある新たなデザインとその実現に向けたアプローチについて興味を持つことができる。集積した知識や新しい発想などを、プレゼンテーションやコミュニケーションの場で的確に社会を含めた他者に伝えることができる。〔多様な情報をまとめ、端的に伝えるプレゼンテーション力〕

- C) 集積した専門知識と、デザインの専門技術などを有効活用し、分析した結果を問題解決に活かすことができる。地球的な視野で相互に関係する意味について思考し、デザイナーとして責任ある行動をとることができる。〔デザインを社会的に位置づける社会的実行力〕
- D) 社会に貢献できるデザイナーとして活躍するために必要となる、豊かな人間性を支える総合的な教養を身につけることができる。〔幅広い知識を互いに結びつけ、魅力ある提案を行うことができる総合力〕
- E) デザインの各専門領域における技術・情報を活用して問題点を明確化し、解決することができる。専門分野の技術の内容を体系的に理解し、習得した知識を基礎とした実践的「ものづくり」を行うことができる。工学に根ざした活きたデザインを創出することができる。〔それぞれの専門分野に関して深く理解し、デザインへと活かすことができる展開力〕

◀DPを達成するために特に重要度の高い科目には◎、重要度の高い科目には○、DPの達成を効果的に補助する科目には△▶

領域	分野目標	授業科目名	単位数	DP1)	DP2)	DP3)	DP4)	DP5)	DP6)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	DP F)	
キャリア形成の基礎	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力として、広い視野の人文的教養にもとづく思考・判断力と、言語の基礎的知識を活用した円滑なコミュニケーション力が発揮できるとともに、心身の健康を維持増進する方策を備えている。	世界と人間	2	○	◎		△	△	△							
		文章表現基礎	2	○	○		◎									
		哲学	2	○	◎		△	△	△							
		倫理学	2	○	◎		△	△	△							
		美術史	2	○	◎		△	△	△							
		文学	2	○	◎		△	△	△							
		日本語の歴史	2	○	◎		△	△	△							
		法学(日本国憲法)	2	○	◎		△	△	△							
		経済学	2	○	◎		△	△	△							
		歴史学	2	○	◎		△	△	△							
		心理学	2	○	◎		△	△	△							
		日本の伝統と文化	2	○	◎		△	△	△							
		国際関係論	2	○	◎		△	△	△							
		日本の文化と社会 I	2	○	◎		△	△	△							
		日本の文化と社会 II	2	○	◎		△	△	△							
		ベーシック・イングリッシュa	1	△	○		◎		○							
		ベーシック・イングリッシュb	1	△	○		◎		○							
		オーラル・コミュニケーション I a	1	△	○		◎		○							
		オーラル・コミュニケーション I b	1	△	○		◎		○							
		オーラル・コミュニケーション II a	1	△	○		◎		○							
		オーラル・コミュニケーション II b	1	△	○		◎		○							
		工学コミュニケーション英語基礎a	1	△	○		◎		○							
		工学コミュニケーション英語基礎b	1	△	○		◎		○							
		キャリア・イングリッシュ I a	1	△	○		◎		○							
		キャリア・イングリッシュ I b	1	△	○		◎		○							
		キャリア・イングリッシュ II a	1	△	○		◎		○							
		キャリア・イングリッシュ II b	1	△	○		◎		○							
		英語プレゼンテーションa	1	△	○		◎		○							
		英語プレゼンテーションb	1	△	○		◎		○							
		中国語コミュニケーション	1	△	○		◎		○							
		中国語と現代中国事情	1	△	○		◎		○							
		海外語学研修	2	△	○		◎		○							
		日本語 I	2	△	○		◎		○							
日本語 II	2	△	○		◎		○									
健康体育 I	1	△	○		◎	○	△									
健康体育 II	1	△	○		◎	○	△									
生涯スポーツ I	1	△	○		◎	○	△									
生涯スポーツ II	1	△	○		◎	○	△									

領域	分野目標	授業科目名	単位数	DP1)	DP2)	DP3)	DP4)	DP5)	DP6)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	DP F)	
工学の基礎	工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力として、数学・物理や他の自然科学関連の基本的知識を理解・応用し、自然環境との共生を念頭においた思考・判断ができるとともに、実践的に他者と協働するなかで専門分野における学修意欲を増進する。	解析学Ⅰ	2	○	○	○										
		解析学Ⅰ演習	1	○	○	○										
		解析学Ⅱ	2	○	◎	◎										
		解析学Ⅱ演習	1	○	◎	◎										
		解析学Ⅲ	2	○	○	○										
		解析学Ⅲ演習	1	○	○	○										
		線形代数学Ⅰ	2	○	◎	◎										
		線形代数学Ⅱ	2	○	○	○										
		微分方程式Ⅰ	2	○	○	○										
		微分方程式Ⅱ	2	○	○	○										
		物理学a	2	△	◎											
		物理学b	2	◎	◎	△										
		物理学c	2	○	◎	○										
		物理学d	2	○	◎	○										
		物理学実験	2	◎	◎	◎	◎	◎	○							
		化学	2	△	◎						○					
		地球科学	2		◎						◎					
		生物科学	2		◎						◎					
		工学倫理	2	△			△	○	◎							
		ものづくりマネジメント技術を活かす経営	2	○	◎		△	△	○							
		知的財産法概論	2	○	◎		△	△	△							
		基礎情報処理Ⅰ	1													
		基礎情報処理Ⅱ	1													
		品質管理	2	○	◎		△	△	○							
確率と統計Ⅰ	2	○	○	○												
確率と統計Ⅱ	2	○	○	○												
淀川と人間	1	△	◎		△	△	○									
淀川と環境	1	△	○		△	△	◎									
デザイン探求演習(PBL)	1	◎	○						○							
宇宙・地球・生命ー探求演習(PBL)	1	△	△		◎	◎	○									
数理科学と教育	数学や他の自然科学関連のより複合的な知識を理解・応用できるとともに、深い人間性を備えた社会の発展に寄与する思考・判断ができる。	級数とフーリエ解析	2	○	○	○										
		ベクトル解析	2	○	○	○										
		線形代数学Ⅲ	2	○	○	○										
		線形代数学Ⅳ	2	○	○	○										
		複素解析Ⅰ	2	○	○	○										
		複素解析Ⅱ	2	○	○	○										
		応用数学Ⅰ	2		○	◎										
		応用数学Ⅱ	2		○	◎										
		実践化学	2	△	◎					○						
		地球システムと人間	2		◎					◎						
		環境生物学	2		◎					◎						
		人間発達と人権	2		○				○							
		教育学Ⅰ	2		◎											
		教育学Ⅱ	2		◎											
		現代代数学	※4													
		数学特論	※4													
		現代幾何学	※4													
		現代解析学	※4													
		教職物理学	※4													
		化学実験	※2													
		地学Ⅰ	※2													
地学Ⅱ	※2															
地学実験	※2															
生物学Ⅰ	※2															
生物学Ⅱ	※2															
生物学実験	※2															
その他連携科目	グローバル化の時代に対応できる社会人の基礎的素養・能力や、工学的観点から社会を持続的に発展させる基礎的素養・能力を、より実践的な活動環境で発揮できる。	キャリアデザイン	1	◎			○									
		キャリア形成支援	1	◎			○									
		インターンシップ	2			◎	○									
		グローバルテクノロジー論a	1					◎								
		グローバルテクノロジー論b	1					◎								
OIT概論	1	◎														
基幹科目	すべてのデザイン分野において必須となる、空間的、立体的構想力や表現力に加え、求められた条件のもとでの包括的な課題解決力を身につける。	設計製図演習	●3			○	△			○	○				○	
		空間デザイン基礎演習	●2		○	◎	△			◎	◎					
		空間デザイン論	●2	◎	◎	◎	○	△	○	◎			○	◎	△	
		空間デザイン演習Ⅰ	●2		○	○	◎				◎	◎			◎	
		総合デザイン演習Ⅰ	●2		○	◎	◎		○		◎	◎	○		◎	
		総合デザイン演習Ⅱ	●2		○	◎	◎		○		◎	◎	○		◎	
		総合デザイン演習Ⅲ	●2		○	◎	◎	○	◎		◎	◎	○		◎	

領域	分野目標	授業科目名	単位数	DP1)	DP2)	DP3)	DP4)	DP5)	DP6)	DP A)	DP B)	DP C)	DP D)	DP E)	DP F)		
建築デザイン系	建築デザイン分野において必須となる、製図技術や表現技法を体得するとともに、建築の設計や施工の際に求められる、計画理論や技術的知識について通曉する。	造形力学Ⅰ・同演習	3	◎	○	△				◎	△						
		造形力学Ⅱ・同演習	3	◎	○	△				◎	△						
		空間デザイン演習Ⅱ	■2		○	○	◎				◎	◎				◎	
		建築環境工学Ⅰ	2	○	○				△	◎	△					△	
		建築環境工学Ⅱ	2	○	○				△	◎	△					△	
		建築材料・構造実験	2	○	◎		○		△	◎	△					△	
		日本建築史	2	○	△				△	◎	△				◎	△	
		西洋建築史	2	○	△				△	◎	△				◎	△	
		建築構法Ⅰ	2	○	○				△	◎	△					△	
		建築構法Ⅱ	2	○	○				△	◎	△					△	
		建築構法Ⅲ	2	○	○				△	◎	△					△	
		建築計画Ⅰ	2	○	○				△	◎	△					△	
		建築計画Ⅱ	2	○	○				△	◎	△					△	
		近代建築史	2	○	△				△	◎	△				◎	△	
		建築構造学	2	○	○				△	◎	△					△	
		都市計画	2	○	○				△	◎	△					△	
		住空間計画	2	○	○				△	◎	△					△	
		都市環境デザイン	2	○	○				△	◎	△					△	
		建築生産	2	○	○				△	◎	△					△	
		建築設備	2	○	○				△	◎	△					△	
建築法規A	2	○	○				△	◎	△					△			
建築法規B	2	○	○				△	◎	△					△			
プロダクトデザイン系	プロダクトデザイン分野において必須の、さまざまな加工、製作技術の熟達と、それらの裏付けとなる材料工学、造形理論、品質管理などについて通曉する。	デザイン史	2	○	△				△	◎	△				◎	△	
		モード論	2	○	△				△	◎	△					◎	△
		ヴィジュアルデザイン演習Ⅰ	2		○	○	◎		○		◎	◎				◎	
		ヴィジュアルデザイン演習Ⅱ	■2		○	○	◎				◎	◎				◎	
		プロダクトデザイン演習Ⅰ	2		○	○	◎				◎	◎				◎	
		プロダクトデザイン演習Ⅱ	■2		○	○	◎				◎	◎				◎	
		プロダクトデザイン論Ⅰ	2	○	○				△	◎	△					△	
		プロダクトデザイン論Ⅱ	2	○	○				△	◎	△					△	
		コミュニケーションデザイン論	2	○	○		△		△	◎	△	△			○	△	
		インテリアデザイン計画	2	○	○				△	◎	△					△	
		色彩計画	2	○	○				△	◎	△					△	
		製品プロデュース論	2	○	○				○	◎	△			○		△	
		デザインマネジメント	2	○	○		○	○	○	◎	○			○		△	
応用広告論	2	○	○		△		△	◎	△		○	△	○	△			
専門共通科目	すべてのデザイン分野に共通する、基礎的な造形スキルやコンピュータ技能を習得し、これらを的確に運用するための文化的、芸術的教養を身につける。	基礎ゼミナール	1	○			○	○		○			○		△		
		造形演習Ⅰ	2			○	△						◎				
		造形演習Ⅱ	2			○	△						◎				
		造形演習A	2			○	△						◎				
		造形演習B	2			○	△						◎				
		CG基礎演習	2			○							○				
		知の技法Ⅰ	2	◎	△				△	◎				○	◎		
		知の技法Ⅱ	2	◎	△				△	◎				○	◎		
		CAD演習Ⅰ	2			◎	△						◎				
		CAD演習Ⅱ	2			◎	△						◎				
		デザイン論Ⅰ	2	◎	△				△	△	◎	△		◎	◎	△	
		デザイン論Ⅱ	2	◎	△				△	△	◎	△		◎	◎	△	
		デザイン論Ⅲ	2	◎	△				△	△	◎	△		◎	◎	△	
		デザイン論Ⅳ	2	◎	△				△	△	◎	△		◎	◎	△	
		文化テクノロジー論	2	◎	△				△	△	◎	△		◎	◎	△	
デザインコンセプト論	2	◎	△		○	○	△	◎	△		○	○	◎	△			
卒業研究		卒業研究	●4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

(注)イ. 単位数の前に●を付した授業科目は必修科目  
 ロ. 単位数の前に■を付した授業科目は選択必修科目